

土木委員会会議記録（第3号）

令和6年 3月 8日

福島県議会

1 日時

令和6年 3月 8日（金曜）

午前 11時 1分 開議

午前 11時24分 散会

2 場所

土木委員会室

3 会議に付した事件

別添「議案付託表」（第1号に添付）のとおり

4 出席委員

委員長	佐藤義憲	副委員長	佐々木恵寿
委員	瓜生信一郎	委員	安部泰男
委員	矢吹貢一	委員	先崎温容
委員	三瓶正栄	委員	山口洋太
委員	吉田誠	委員	石井信夫

5 議事の経過概要

（午前 11時 1分 開議）

佐藤義憲委員長

ただいま出席委員が定足数に達しているので、これより土木委員会を開く。

本日は、昨日に引き続き、当初予算関係議案の審査を行う。

議案の説明が終了しているので、これより質疑に入る。

質疑のある方は発言願う。

瓜生信一郎委員

土21ページ、河川海岸改良費の2ふなっこふるさと川づくり事業について、整備実施後は市町村が管理すると思うが、十分に管理できていない状況も見受けられる。

今後はどこの河川で実施するのか。

河川整備課長

ふなっこふるさと川づくり事業では、地域住民が河川の水辺空間に親しめる環境づくりのほか、落差工がある箇所への魚道の設置など生態系に配慮した河川整備を実施している。来年度は、磐梯町の大谷川で河川に親しめる遊歩道を設置する予定であり、河川管理者である県が管理していく。

瓜生信一郎委員

遊歩道の管理も県で行うのか。

河川整備課長

河川管理施設として、設置後も県で管理していく。

瓜生信一郎委員

管理は今まで市町村に委託していたと思うが、どうか。

河川整備課長

過去にこの事業で設置した親水護岸や遊歩道、あずまやなどは市町村に管理を委託している。今回設置する施設については、河川管理施設として県で整備、管理していく。

安部泰男委員

土21ページ、建設発生土適正処理推進費の13億3,100万円について、事業の詳細を説明願う。

技術管理課長

土木部が発注、監督する工事や河川などで生じた建設発生土を有効利用するため、一時保管するストックヤードを整備する事業である。

安部泰男委員

整備箇所は県内で1か所か。

技術管理課長

現在、17か所の整備を行っている。

安部泰男委員

17か所の所在地を資料で示すことは可能か。

技術管理課長

土砂を搬入する施設であることから、慎重に地域合意に取り組んでいるところで

あり、まだ地域の合意形成に至っていない箇所があるため、整備の進捗状況に応じ、めどが立った箇所から説明したい。

安部泰男委員

建設発生土を一時的にストックヤードに保管しながら利用し、最終的に更地にして土地所有者に返すのか。

技術管理課長

ストックされた建設発生土は公共事業間で流用するが、工程的にリアルタイムでの流用が図れない場合にストックヤードに一時保管する。なお、事業用地はほぼ県で買収しているため、恒久的に建設発生土の有効利用に活用する方向で整備を進めている。

安部泰男委員

ストックヤードを造ることにより、その周辺の土砂災害が心配されるが、その辺りはどうか。

技術管理課長

特に土砂災害が懸念される場所については、林地開発等の協議や防災施設等の整備を行った上で計画を進めている。また、地域との合意形成を十分に図った上で整備を進めることとしている。

先崎温容委員

土10ページ、地域づくり交流促進事業費の1元気ふくしま地域づくり交流促進事業3億4,000万円について、新年度の事業概要をもう少し詳細に説明願う。

また、部長説明の「県内7地域の特色を生かした広域サイクリングルート環境整備推進」とは、土11ページの自転車の活用による健康づくり推進事業1,000万円のことでよいか。あわせて、予算の使い道についても説明願う。

まちづくり推進課長

元気ふくしま地域づくり交流促進事業であるが、新年度は地域活性化に向けた交流人口拡大を図るため、県有施設を活用した基盤整備などを県内25か所で実施する。具体的には、玉川村乙字ヶ滝地区で県道372号須賀川二本松自転車道線の自転車利用空間整備などを実施する予定である。

道路整備課長

自転車の活用による健康づくり推進事業であるが、新年度は県内7方部にある広

域サイクリングルートの情報発信と環境整備を行う予定である。情報発信については、PR動画を作成し見てもらえる環境づくりやインバウンドを想定したホームページの多言語化を進めていきたい。環境整備については、施設の案内看板等の充実を引き続き図っていききたい。

先崎温容委員

部長説明にあったふくしまぐらし住宅提供事業は、土36ページの来て ふくしま住宅取得支援事業のことでよいか。また、新年度はこの予算額でどのように実施し、どの程度の規模や世帯数を見込んでいるのか。あわせて、継続事業であれば今年度の実績も説明願う。

建築住宅課長

部長説明にあった事業は、土36ページのふくしまぐらし住宅提供事業である。本県への移住、定住や関係人口の創出、不安定な就労状態にある若者等の自立と県内定着を促進するため、本県への移住を検討している若者等や就労サポート機関の支援を受け就職した単身の若者に対して、県営住宅の空き住戸を一定期間低廉な使用料で提供する。予算は1,700万円程度で、県内6市にある県営住宅の空き住戸30戸程度の使用を想定している。

吉田誠委員

部長説明にあったが、一般公共事業費が前年度比68.1%となった背景と要因について聞く。

佐藤義憲委員長

その質問は一般的事項になるため、一般的事項の際に質問願う。

吉田誠委員

土13ページの道路橋りょう改良費について、事業の進捗と今後の展望を聞く。

道路整備課長

道路橋りょう改良事業（県単）として、雪寒事業、舗装改良事業、道路改築事業、交通安全事業など様々に展開しており、令和6年度は73億円程度の予算を計上している。例年、同規模の予算を確保して計画的に各事業の推進を図っている。

吉田誠委員

事業期間はどのくらいなのか。

道路整備課長

今ほど大きく4つの工種を説明したが、事業期間については工区ごとに設定している。

吉田誠委員

土20ページの河川海岸維持管理事業について、河道掘削する河川を聞く。

河川整備課長

令和6年度は県北管内の松川、県中管内の逢瀬川、白河市の阿武隈川、社川など県内171河川で実施する。

吉田誠委員

一覧表が欲しいが、主要事業一覧資料に掲載されているか。

河川整備課長

当該資料には記載されていない。

佐藤義憲委員長

吉田委員から資料要求があったが、資料提出は可能か。

土木総務課長

整備系の事業については公共事業箇所調書や主要事業一覧資料で示しているが、維持管理系の事業については資料等の提供は行っていないため、提出は控えたい。

吉田誠委員

事業実施箇所を把握できないとの理解でよいか。

土木企画課長

維持管理系の事業については現状を踏まえて来年度の予算に計上しているが、新年度になると現場の状況が変わってくる。計上した予算の範囲内で適切に対応していきたいが、箇所としては変動することがあるため、資料提出を控えたい。

吉田誠委員

土28ページの空港事業費3.5億円について、具体的に何を実施するのか。

空港施設室長

滑走路端安全区域（RESA）の基準を満たすための工事を実施する予定である。

吉田誠委員

理解できなかったので、もう少し具体的に説明願う。

空港施設室長

滑走路をオーバーランした際などに機体の損傷を軽減させるための滑走路端安全

区域の基準変更に伴い、福島空港の滑走路端の延長を確保するための国庫補助事業を実施しており、その事業費として計上している。

吉田誠委員

福島空港だけでなく、ほかの地方空港等でも同様の取組を実施しているのか。

空港施設室長

各空港で滑走路端安全区域に不足がある場合は、それぞれ整備に取り組んでいる。

先崎温容委員

土3ページ、やさしい道づくり推進事業1億円の財源が社会福祉総務費であるが、通常の整備事業とどう違うのか。

道路整備課長

やさしい道づくり推進事業では、ユニバーサルデザインの考え方に基づく段差の解消や視覚障がい者のための誘導ブロックの設置などにより、公共施設や福祉施設の周辺の歩道等を整備している。

佐藤義憲委員長

ほかにないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

佐藤義憲委員長

なければ、以上で当初予算関係議案に対する質疑を終結する。

本日は、以上で委員会を終わる。

明3月12日は、午前11時より委員会を開く。

審査日程は、一般的事項に対する質問である。

これをもって散会する。

(午前 11時24分 散会)